



丹波市のマスコット「ちーたん」(左)と兵庫県のマスコット「はばたん」(生郷交流会館前にて)

日本一低い谷中 中央分水界のあるまち

# 生 いくさと 郷

第38号 令和2年2月18日

発行 生郷自治振興会

編集 魅力づくり委員会

TEL/FAX (0795) 82-2666

Facebook 生郷自治振興会 検索

梅の香りに春の訪れが待ち遠しい今日この頃、皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は生郷自治振興会の運営にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

「未来に向けた地域づくりを目指す」を目標に始まった今年度は、水分れ祭りや生郷ふるさと音楽祭など従来の行事のほかに、新しい試みとして石生駅周辺で開かれたタンバッカスフェスティバル、そして生郷自治振興会 40 周年記念行事などがあり、たくさんの方に参加していただきました。また水分れフィールドミュージアム友の会の発足や生郷里山づくり懇話会の活動開始など、色々な事柄が地域の人たちに支えられて進んでいます。さらに県立丹波医療センターの開業やゆめタウンの市民プラザ開設、新しい店舗や住宅の増加などで人や車の往来にも変化が生じ、令和2年の生郷も活性化が期待できそうです。



生郷自治振興会  
副会長 荻野 浄美

## I Love Ikusato !!

ところで平成元年の年末に、私たち家族は引っ越して来ました。丁度子供が小学校にあがる前で3学期だけ東幼稚園に通ったのですが、初めての集団登校では6年生の交通リーダーがテキパキと指示を出して皆をまとめ、安全に学校まで連れて行ってくれ、とても頼もしく見えました。学校までは遠かったけれど、冬の厳しい時期に小学生のお兄さんやお姉さんと一緒に通ったことは本人にはとてもいい経験となり、1年生になる頃にはすっかり周囲になじんで、担任の先生から「本当に都会から越して来たんか?」と言われる程でした。

この他にも東小学校の素晴らしいところはたくさんありました。中でも一番気に入ったのは、当時私が見たことのないランチルームです。全校生が一堂に集まって「いただきます」をする! 学習の場と食事の場が違うということは、学校生活により一層メリハリがつき何より衛生面でも安心です。今では全国あちこちに見られるようですが、その頃は最先端だったのですね。



ランチルーム

そしてもう一つは、今はなきトレーニングコース。それは小学校の裏山に幾つかあって、子供たちは朝学校に着くとそれぞれの体力に合ったコースに飛び出して行

き、帰ってくると6年の人がカードにハンコを押してくれるといったものでした。楽しみながら一生懸命コースを回ってハンコを集め、自動的に体力も養われ足腰も強くなる。こんな素晴らしい事ができるのも、山際にある小学校ならではの感動したものです。しかし残念ながら何年かしてトレーニングコースは廃止され、今や道は残っているものの木が倒れたり階段が腐ったりして子供たちが通れる状態ではありません。私はこのトレーニングコースを何とか復活できないものかと考えている1人です。幸いにも現在、国や



トレーニングコース

県・市も災害に強い里山づくりを提唱し整備に力を入れ始めているので、それらの力も借りながら生郷地域として今後も里山整備を地域の皆さんと一緒に進めていけたらと思います。30年前に比べると大変便利になり魅力ある街になった生郷に、転入者も多いと聞きます。私がその時感じたように、またその人たちにも「なんて良いところなんだ!」と思ってもらえるように、これからもこの豊かな自然あふれる生郷を、地域一丸となって守っていききたいものです。

## 出張介護教室

10月20日(日)生郷交流会館において、丹波市社会福祉協議会氷上支所の方を講師にお迎えして、出張介護教室を開催しました。

介護保険制度の流れや市の介護サービスについて、分かりやすい映像や資料をまじえて、丁寧に説明して頂きました。

最後に質疑応答の時間を設け、分からない点や疑問に思っていることなどを教えていただきました。



出張介護教室

## グラウンドゴルフ大会

11月10日(日)山南町のしあわせの里において、生郷自治振興会主催・生郷体育振興会主管の生郷地区グラウンドゴルフ大会が開催されました。

この大会の趣旨は、グラウンドゴルフを通して、広く生郷地区住民の多世代で楽しむスポーツの意義を高揚し、生涯スポーツの振興を図ることです。

当日は好天に恵まれ、47名の参加のもと楽しい一日になりました。



グラウンドゴルフ大会

## 花いっぱい運動

11月17日(日)生郷交流会館において、花いっぱい運動として、プランターの植え替えをしました。

花いっぱい運動は、戦後まちが荒廃し人々の心にも余裕を持たない中で、「社会を美しく・明るく・住みよくする」、また花を通じて人々の気持ちを豊かにとの願いを込め、昭和27年4月8日、当時松本市の小学校の教員だった小松一三夢先生によって始められました。

生郷地区では東小学校、ポップアップホール、石生駅東口と西口、生郷交流会館に設置していますので、どうぞご覧ください。



植え替え作業



東小学校



ポップアップホール

## 認定こども園いくさと生活発表会

11月30日(土)と12月13日(金)の両日、認定こども園いくさにおいて、生活発表会が行われました。30日は0~3歳児、13日は4、5歳児が、表現遊びや劇遊び、合奏や歌を発表してくれました。

毎日の生活や遊びの経験から、表現する楽しさや友達と心通わせる喜び、思いやりの心など、子どもたちの成長した姿を見ることができました。



0~3歳児 表現遊び



4、5歳児 合奏

## もちつき体験学習

1月31日（金）東小学校において、生郷地域の有志の方々と保護者の皆様のご協力のもと、3年生53名とオーストラリアからの短期留学生14名が、もちつきときな粉づくりを体験しました。

3年生はいま社会科や「総合的な学習の時間」の授業で、昔の暮らしや道具を勉強中ということで、石うすを使ったきな粉づくりは貴重な体験となりました。しかし意外なことに約半数の3年生は、各自治会やスポーツクラブのイベントなどでもちつきを経験しているということで、たいへん驚きました。



留学生のパワフルなもちつき



石うすを使ったきな粉づくり



美味しくいただきました

### 《ヨコのカギ》

- 1 溝やレールの上を水平方向に滑らせて開閉する戸。
- 4 人や船が進む方向に対し、後ろから吹いてくる風。
- 7 三味線を伴奏とする語り物音楽の一種。人形○○○○○。
- 9 ハワイでおなじみの首などにかける装飾品。
- 10 ラグビーワールドカップ日本代表のチームスローガン。
- 12 無事かどうかということ。安全か否か。
- 13 人間を乗せ人力で持ち上げて移動するための乗用具。
- 14 釈迦仏の弟子で、後に違背したとされる人物。漢字で提婆達多と書く。
- 16 知識を問う問題。○○○番組。
- 20 キタ○○○。○○○うどん。
- 21 本誌4ページで紹介している絶滅危惧種。

1	2	3	4	5	6
7			8		9
			10		
11		12			13
14				15	
			16		17
	18		19		20
21					

黄色の枠の文字を並べ替えてできた言葉が答えです。

ヒント:3月といえば

ハガキに①クロスワードの答え②住所③氏名④年齢⑤性別を明記のうえ、下記までお送りください。抽選で5名の方に1,000円分のたんば共通商品券を差し上げます。

### 《タテのカギ》

- 1 人間の腕の一部で、腕を折り曲げたときに外側になる部分。
- 2 要求や提案を聞き入れないで断ること。
- 3 タテ4などで3位の個人や団体に贈られるメダルの色。
- 4 4年に一度開催される世界的なスポーツの祭典。今年は東京で開催。
- 5 カレー料理で使われる混合香辛料。
- 6 国税局の所掌事務の一部を分掌させるために設置されている国の行政機関。
- 8 東アフリカに位置する共和国。
- 11 肌に直接つける衣類。下着。
- 12 痘瘡が治ったあとの皮膚に残る小さなくぼみ。○○○もえくぼ。
- 15 今いる場所から立ち去ること。
- 17 頭部の一部あるいは全体の痛みを総称。
- 18 屋外。タテ19から○○を見る。
- 19 採光、通風、眺望といった目的のために設置される建具。

締切は3月25日（水）です。当選者の発表は賞品の発送をもって替えさせていただきます。

〒669-3464 丹波市氷上町石生 700-1

生郷自治振興会 クロスワード係

マ	サ	ハ	ラ	サ	バ	ク
ブ	タ	ロ	ケ	チ		
タ	カ	ヨ	ウ	ジ	ア	ク
	ケ	イ		ゲ	キ	カ
ツ	イ	シ	ン	ロ	マ	ン
イ	シ	ヤ		ヒ	ツ	
シ	ヨ	ウ	ヒ	ゼ	イ	リ
	ウ	ン	ダ	メ	シ	ノ

広報誌のご感想や生郷自治振興会に対するご意見、ご要望などもお書き添えください。

前回の正解は『キンロウカン シャノヒ』でした。応募総数10通、正解9通の中から抽選で5名の方に1,000円分のたんば共通商品券をお送り致しました。

【編集後記】本年度の広報誌は本号をもって最終回です。1年間ご愛読いただき、本当にありがとうございました。本年度は新しい企画として、クロスワードを作成しました。地域の話や広報誌の記事を取り入れ、身近なクロスワードを目指してきましたが、如何だったでしょうか。また貴重なご意見を多数頂戴し、大変感謝しております。これらのご意見を財産としてより良い広報誌を目指して参りますので、今後ともご指導、ご鞭撻をお願い致します。魅力づくり委員会一同

## 丹波の貴重な宝物 ホトケドジョウ

### 「氷上回廊」を歩き来した生き証人

こんにちは。突然ですが「ホトケドジョウ」の名前を聞いたことがありますか？

ホトケドジョウは日本の固有種で、青森県を除く東北以南の本州に生息し、兵庫県丹波市の加古川水系が最も西側に位置します。

現在、**兵庫県内では丹波市内の6か所**でしか生息が確認されていません。全国的にも個体数が減少していて、このままでは絶滅してしまう恐れがあります。このため、環境省レッドリスト絶滅危惧1B類（EN）兵庫県では、レッドリストAランクに指定されています。



ホトケドジョウ

### 何故、丹波地域にホトケドジョウが残っているの？

およそ200万年前に大陸から日本に渡ってきたホトケドジョウは、山の中と里近くの二手に分かれて暮らし、地殻変動など厳しい環境を乗り越え現在まで生き残ってきました。しかし近年の急速な環境悪化で、限られたところでしか生息ができない状況になり、各地で絶滅してしまいました。ホトケドジョウは、夏場の水温が低く、水のきれいな流れの緩やかな小川や水路に生息しています。丹波で生き残ったホトケドジョウの生息地は、いずれも湧水と関係しています。丹波地域には自然にあふれた原風景が残り、湧水やきれいな水が豊富で、とても豊かな水環境に恵まれています。

ホトケドジョウにとって、この環境こそが、住みやすい条件であったかもしれません。



生息地のひとつ

### 「氷上回廊」との関係は？

近畿地方のホトケドジョウの分布については、兵庫県の東に隣接する京都府亀岡市から報告されています。兵庫県下で確実にホトケドジョウの生息が確認されたのは丹波市のみです。丹波地方は由良川水系と加古川水系の源流部が接し、河川争奪が繰り返され、山間平地に谷中央分水界を形成しています。日本海と瀬戸内海を結び、もっとも低い標高の低地帯ルートに位置しています。平地性のホトケドジョウが東から丹波地方に侵入してくることは容易なことです。由良川水系と加古川水系のホトケドジョウのDNAを調べたところ、両水系とも同じDNAを持ち、氷上回廊を歩き来してきたと思われます。

### 「丹波地域のホトケドジョウを守る会」に参加してみませんか

ホトケドジョウは1993年に丹波市で確認されました。その後、生息地を見守り続けて来たのですが、生息地の崩壊や個体数の減少で絶滅が心配され、2006年に河合雅雄先生を顧問に迎え、「丹波地域のホトケドジョウを守る会」を結成しました。

活動は毎月1回、生息地を回り、水質調査、ホトケドジョウの確認、同じところに生息する生きものなどを記録、また生息地の造成や整備をしています。

2012年から、須磨海浜水族園と共同で調査、保護活動、2017年から柏原高校理科部生物班も加わり、楽しい活動をして

います。是非、みなさんも参加してみませんか。

お問い合わせは事務局（丹波の森公苑 森づくり課 電話0795-72-5165）までお願いいたします。

文・写真 丹波地域のホトケドジョウを守る会  
代表 山科ゆみ子



採集指導



採集物の測定・記録作業